

EdTech成果報告レポート

株式会社 E d L o g

申請番号：EDT00033

①事業者に関する情報

A) 会社概要

会社名： 株式会社 E d L o g

法人番号： 5010901041095

所在地： 東京都港区芝大門1丁目10番11号 芝大門センタービル8F

連絡先： E-mail: infor@edlog.co.jp

設立年月日： 2017/11/09

資本金： 3,000,000円

従業員数： 2名

事業内容： 教育関連ソフトウェア開発，学習記録の分析，
教育情報化に関するコンサルティング

代表取締役社長 中川 哲

B) 財務情報 (2020年度)

売上高： 27,747,263円

経常利益： 13,419,302円

②EdTech 市場に対しての捉え方

A) EdTech 市場の分析

今後、学校でのICT環境整備が進展するに伴い、学校におけるEdTech市場は、今後ますます広がっていくと考えております。特に、クラウドサービスを導入した学校におきましては、これまで購入していた紙の教材やサービスに加えて、情報端末とクラウドを利用したサービス=EdTechのニーズが高まると期待しています。

B) EdTech市場における自社の位置づけ

弊社のサービスは、教員のテスト採点という校務分野の取り組みをベースとし、クラウド経由でのテスト返却を通じて、学習者に対するテスト後の学習指導を連動させるサービスです。

C) EdTech市場における自社の強みと弱み 等

強み：弊社のサービスは、どの学校でも実施されているテストを取り扱うことから、ニーズの高いサービスだと考えております。

弱み：一方、弊社のサービスは、校務と学習指導を連動させるサービスであり、GIGAスクール構想により整備された学習系のICT環境だけでなく、校務のICT環境も整っている必要があります。校務系と学習系の両方のICT環境が整備されている必要があります。実施の難易度は比較的高いと考えております。

③ 自社ツールの概要説明

A) 自社 EdTech ソフトウェア・サービスの特徴や強み

EdLogクリップクラウド連携パックは、EdLogクリップ採点支援システムと連動するソフトウェアです。EdLogクリップ採点支援システムは、既に多くの学校で採用されており、教員の採点業務の時間削減校効果を発揮するとともに、正答率の提供や誤答に対するコメント入力機能など指導面での効果も発揮し、多くの教員の支持を集めています。また、EdLogクリップ採点支援システムは、高等学校と中学校といった教科担任制の学校のみならず、学級担任制を採用する小学校においても数多く利用されている特徴を持ちます。しかし、これまで、EdLogクリップ採点支援システムは、テスト返却時に印刷を多用することから、印刷代の負担が学校にかかりました。学校が、EdLogクリップクラウド連携パックを利用することで、これまで印刷代の負担が大きかったEdLogクリップ採点支援システムの欠点が補えます。さらに、これまであったテスト採点後から返却までのリードタイムが、なくなり、学習者は、自らの記憶がフレッシュな間に、テスト自己採点に取り組み、学習効果が高くなるメリットがあります。

B) 自社 EdTech ソフトウェア・サービスの提供スタイル（価格や契約方法等）

EdLogクリップクラウド連携パックは、EdLogクリップ採点支援システムを採用しており、かつ、Google Classroomを導入している学校向けのサービスとなります。価格は、オープン価格で、契約は、販売代理店経由となります。

C) 本事業にて導入した学校等教育機関数や学校等設置者数やその概要等

学校等教育機関数： 8機関， 学校数： 24校

教員数： 1,511名， 生徒数： 15,681名

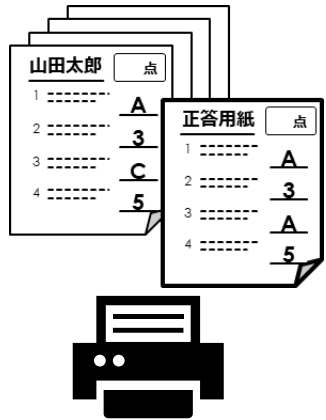
ソフトウェア・サービス名： 「EdLogクリップクラウド連携パック」

EdLogクリップ採点支援システムとクラウド連携パック※赤点線枠の概要

素早くきめ細かい採点と返却

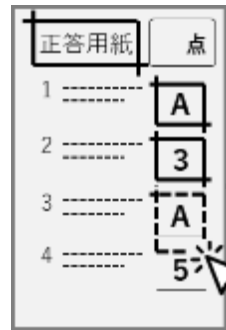
①読み込み

(既存のテストおよび用紙)



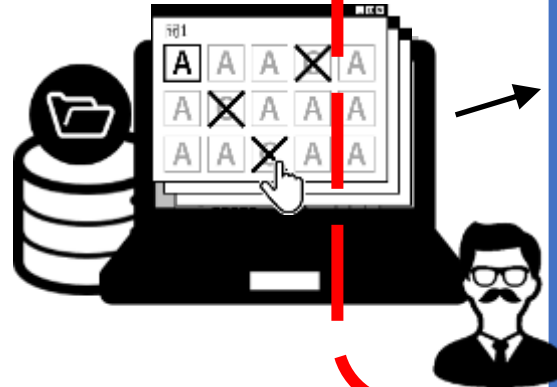
正答用紙と学習者の手書き解答用紙をスキャンし、本システムで取り込み

②事前設定



- 項目及び解答欄の領域設定
- 名簿との名前マッチング

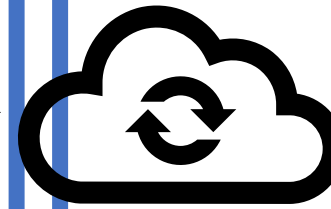
③丸付け



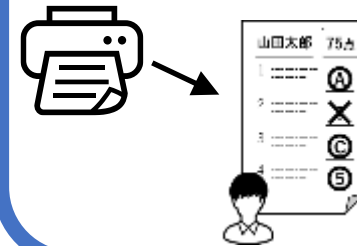
- クリップ採点で不正解のみクリック
- 丸付け中に解説コメントも入力可能
- 自動で得点計算と台帳転記

④返却

クラウドで、テスト返却に関する課題を解決



各解答者は、採点済み解答用紙をクラウドで事前入手



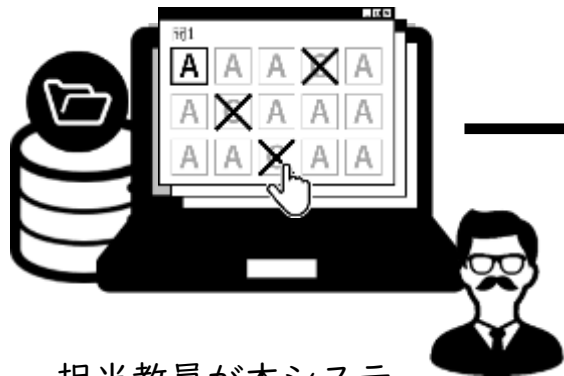
解説授業の際に採点済み解答用紙を紙でも入手

教員のアクション

学習者のアクション

EdLogクリップクラウド連携パック を用いたデータの流れ

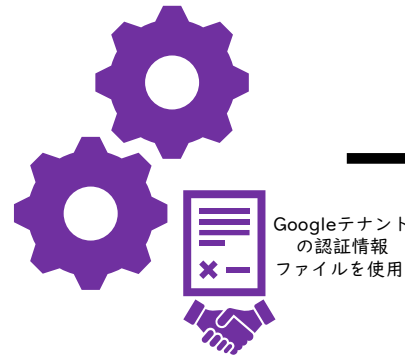
EdLogクリップ 採点支援システム



担当教員が本システムを用いて、採点もしくはプリントチェックを完了

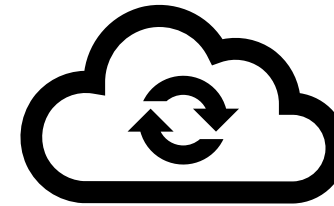
※当該教員がGoogle Classroomへログインした権限の範囲で、EdLogクリップクラウド連携モジュールは動作します

EdLogクリップ クラウド連携 モジュール



当該教員が本モジュールにより学習者毎の採点結果・チェック済みプリントをGoogle Classroomへ投稿

Google Classroom



Google Classroomのクラスに“課題”として、採点結果・チェック済みプリント（採点済み解答用紙）がアップロード

※データは、Google Classroom（Googleクラウド）上に保管されます

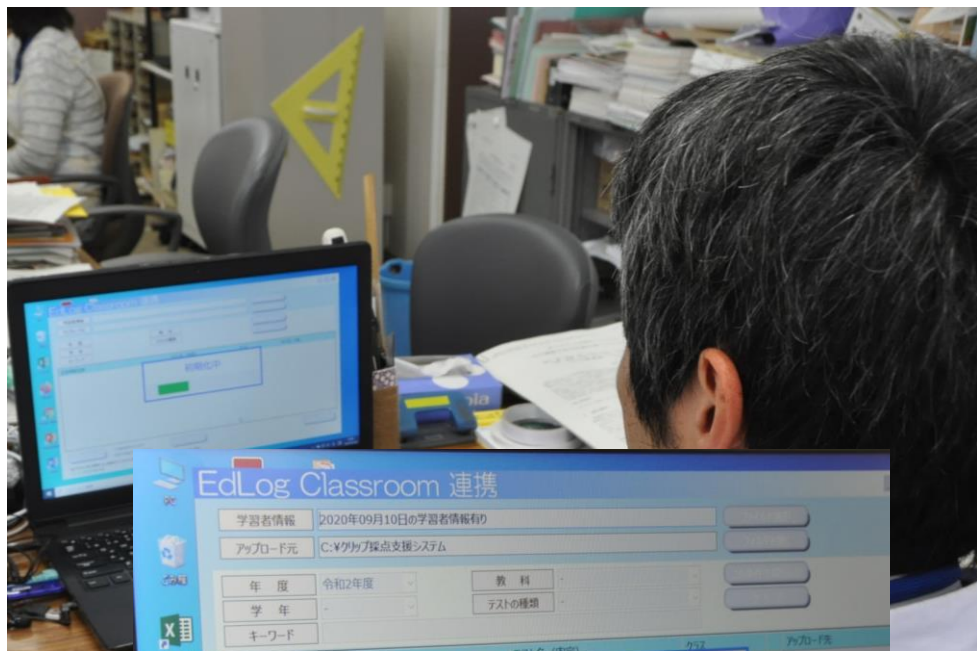
学習者端末から 自分の答案に セキュア アクセス



アップロードされたファイルは、適切な権限を持つ教員と各解答者（本人）しかアクセスできません

EdLog クリップクラウド連携パック利用の様子

教員@職員室



EdLog Classroom 連携

学籍者情報 2020年09月10日の学籍者情報有り

アップロード元 C:\Vツクリポイント支援システム

年度 令和2年度 教科

学年 テストの種類

キーワード

正吾用紙名称	テスト名 (内訳)	カテゴリ	アップロード
理科_3年_1学期:小テスト_01			2020_3年1期
理科_3年_3学期:学年テスト_01			2020_3年2期
			2020_3年3期
理科_1年_2学期:単元テスト_02			1年第2検査会場
			1年第3検査会場
			1年第4検査会場
			1年第5検査会場
			2年1期
理科_2年_2学期:期末テスト_01	第3回定期テスト		

アップロード中 (23/99)

生徒@教室



EdLog クリップクラウド連携パックによって、学習者が得られたメリット

- 即時フィードバック終了後、素早く採点し、時間を空けずにテストを返却する環境
教員が、受け取ったテストは、記憶が新しい間、頭の修正できるとき、模範解
を、受取ったテストは、記憶が新しい間、頭の修正できるとき、模範解
- テストシヨック軽減
学習者は、解答して、結果を把握することによって、答え合わせの授業前に、採
点済みの解答を、結果を把握することによって、答え合わせの授業前に、採
点済みの解答を、結果を把握することによって、答え合わせの授業前に、採
- 自己調整の促進
答え合わせの授業の前に、自分の間違い箇所について前もって調べてから
答え合わせの授業の前に、自分の間違い箇所について前もって調べてから

④EdTech 導入補助金における成果

A) 申請時に提出した「事業計画」に対する結果の分析及び考察

新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、本年度の学校におきまして、例年通りにスケジュールが進まなかった（テスト解説の授業等含め）ことと、教員各位が多忙を極め、時間確保が難しかった状況ありました。一方、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、これまで実施が難しかったオンライン会議やリモートオペレーションが可能となり、導入サポートも行うことが出来ました。実際のソフトウェア利用に関しては、サービス立ち上げ直後は、いきなり定期テスト返却というケースと、小テストやプリント等の返却を行い、サービスが確実に動作しているかを確認しながら、運用が進められるケースも見られた。

B) 導入から運用における課題とそれを克服するための創意工夫

これまで、学校と保護者にとって経験のなかったクラウドによるテスト返却を行うにあたり、サービス概要の説明や期待される効果などを丁寧に説明する必要があった。

また、実証を行う学校とGoogle Classroomの管理者が異なる（教育委員会や学校法人、また導入業者）ケースがほとんどで、導入には、多くの調整業務が必要となり、EdLogクリップクラウド連携パックがどのような挙動となるかを丁寧に説明する必要があった。

C) 上述のA) B) を受けて今後の対策や展開・事業計画、国に期待する支援策について

学校がクラウドサービスを利用するにあたっては、個人情報管理の観点から、新潮に行われるべきだと理解しているが、利用のためのプロセスが明確化されていなかったり、学校現場に申請のノウハウが蓄積されていないように感じております。学校がクラウドを円滑に利用できるよう、ガイドライン等の整備を期待します。

また、学校のクラウド利用を促進する今回の経済産業省の事業（補助）の継続を希望します。